

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

平成26年度(第65回)通常総会 —6/26 アストプラザにて開催—



三重県漁連 永富会長の挨拶

三重県漁連は、6月26日(木)、津市羽所町のホテルグリーンパーク津に於いて、鈴木英敬知事や奥野県議会副議長らを来賓に迎えて、第65回通常総会を開催しました。

冒頭に挨拶した永富洋一漁連会長は、「昨年『和食』がユネスコ無形文化遺産に登録され、世界的にも注目され、国内においても魚食に対する関心の高さが伺え、水産業に対する期待は高まりを見せているが、県内漁業においては、円安による燃油価格の高騰や天然魚の天候不順による水揚げの減少。養殖魚については、他県の値下げ攻勢により、漁家経営はさらなる厳しい状況におかれている。」と述べました。

鈴木知事は「平成26年度は、県として、漁業の担い手対策協議会の設立、魚食普及活動の推進、一次産業の輸出拡大

等、水産業界発展のための活動に力を入れて行きます。今後とも、コミュニケーションを密にして、共に歩んで行きましょう。」と力強く挨拶されました。その後の議事では、25年度事業報告や26年度事業計画など9議案が上程され、可決承認されました。なお、本総会を以って磯部均専務理事が退任し、中村香雪元参事が新しく専務理事に就任しました。

漁業の担い手対策協議会設立総会 —6/27 松阪のり流通センターにて開催—



6月27日(金)、松阪市中央町の三重漁連松阪のり流通センターに於いて、三重県農林水産部の主催による、「三重県漁業担い手対策協議会」設立総会が開催されました。近年、漁業者の高齢化や減少が急速に進み、担い手となる漁業者の確保・育成が重要な問題となっていることから、今年度から「新規漁業就業者定着支援事業」を実施し、漁業就業希望者が知識や技術の習得に必要な学習資料の整備、漁協が取り組む新規就業者の

支援に対する経費補助を実施することとなりました。

総会には、県、各市町、三重漁連他各水産関係団体から合わせて 34 名が出席し、協議会規約の承認後、役員を選任が行われ、続いて、作業部会の設置や今後の運営及びスケジュールについて協議が行われました。

26 年度役員に選任された方々は次の通りです。(敬称略)

- 会 長 長井 理 (三重県漁連)
- 副会長 藤吉利彦 (県農林水産部)
- 監 事 中井正進 (三重県信漁連)
- 監 事 矢下祐二 (農水支援センター)

**全国漁青連GL研究集会・総会
—6/26～27 東京都にて開催—**



2014 年度全国漁青連通常総会

6 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金)、東京都千代田区の T K P 大手町ビジネスセンターに於いて、三重県内からの 5 名を含む約 100 名の出席者のもと、全国漁青連グループリーダー研究集会並びに全国漁青連通常総会が開催されました。初日の G L 研究集会では、桑名市の赤須賀漁協青壮年部研究会 副会長秋田健一氏が「絶やさない！ 漁業を繋ぐ赤須賀の心意気～ハマグリの復活によ

る地域の活性化～」と題しての発表が行われ、その後、(株)プロ・スパー代表取締役 鈴木裕己氏による「生産者と流通業者が共存共栄するための『出口を作る』水産物流通革命への取組～マイナー魚・未利用魚の活用事例～」と題した講演が行われました。続いて、「青年部



グループ討論の様子

の知恵と工夫と行動力で浜に活気を！」をテーマに参加者が 9 つのグループに分かれ、各地で利用価値の低い魚を

取り上げ、どのような活用方法があるかを議論し、それぞれの代表者が発表を行いました。2 日目に開催された 2014 年度通常総会では、2013 年度事業報告や 2014 年度事業計画など 3 議案が承認されたほか、役員改選により、愛媛県の菅原幸洋理事が会長に互選され、本県の田中吉兆会長が監事に就任しました。



【主な予定】

- 7 月 7 日 (月)
三重県漁港漁場研修会 (津)
- 7 月 10 日 (木)
ワンコイン・コンサート (津)
- 7 月 12 日 (土)
三重県農林水産就業フェア (津)



本文の無断転載・転用等は固くお断りします。